

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	「地域の縁側」としての開放も計画し、ホームに地域交流スペースを設置する準備をしています。昔の映画を見たり、なじみの方との語らいの場にしていだけるように、地域の交流の場になればと思います。	誰でも気兼ねなく出入りが出来るホームの「縁側事業」のシステムを構築します。	備品の準備は出来ており、部屋のレイアウト・地域への広報手段・係の決め事などを明分化して、組織として立ち上げます。	3ヶ月
2	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援で終末期へ向かっていく時のご家族の理解の確認・又、医院との連携が確立されていません。今後は、ホームで看取りケアを行う事がますます進んでいくと思われ、医師との連携体制の構築をすぐに進めていきたいと考えています。	ご本人・ご家族が、「グループホーム西城園に入って良かった。」と言っていたかのような、納得のいく最期を迎えられるための体制作りの構築を目指します。	医師との連携が出来るように、医師を加えた勉強会も開催し、看取りケアの重要性を確認して頂く体制作りを行います。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。